

事例紹介 | コンソーシアム | 水素社会実現に向けたロードマップ策定支援

背景・課題

- ◆ 政府が掲げる水素導入目標を確実に達成するために、**社会実装プロジェクト実現の道筋を見える化するためのロードマップ**を策定を策定したい。
- ◆ 会員企業へのヒアリング等を通して**水素需要量の試算**を行い、政府目標に対応した需要の拡大に向けた方策を検討したい。
- ◆ 上記の検討を通して、社会実装の実現に向けて必要な方策・政策を明らかにし、**政府への提言**につなげたい。

プロジェクト概要

- ◆ 会員企業へのヒアリングによる積み上げ結果、理論的に推定した水素需要ポテンシャルおよび政府目標とのギャップから、需要拡大に向けて必要な課題を抽出。
- ◆ ロードマップのドラフトを作成した上で、当該ドラフトについて、コンソーシアム内の各タスクフォースでの討議、メンバー企業へのアンケートを通じて内容をブラッシュアップ。
- ◆ 上記の検討を通じて抽出した課題の解決策を明らかにするとともに、関係官庁に対する政策提言案を作成。

実施成果

- ◆ **水素需要規模の推計**
ヒアリングと机上調査を基に、部門別の水素需要を推計。
- ◆ **社会実装に向けたロードマップの策定**
ヒアリング、机上調査、会員討議を通してロードマップを作成。
- ◆ **政策提言案の策定**
上記で抽出した課題に対し、必要となる対応策・政策を検討し、政策提言案を策定。

担当コンサルタント



猪股 未来 イノマタ ミライ

環境・エネルギー・資源グループ
シニアマネジャー/ 上席主任研究員



松島 悠人 マツシマ ユウト

環境・エネルギー・資源グループ
マネジャー



早矢仕 廉太郎 ハヤシ レンタロウ

環境・エネルギー・資源グループ
マネジャー



挟間 優治 ハゼマ ユウジ

環境・エネルギー・資源グループ
コンサルタント

タスク1 需要推計

ヒアリング
多数の会員企業にアンケートとヒアリングを実施し、積み上げでの水素需要を算定。

需要推計
統計資料等に関する調査を実施し、需要ポテンシャルを推計。

課題抽出
需要ポテンシャル、政府目標、積上需要とのギャップの要因を課題として抽出。

タスク2 ロードマップ作成

社会実装プロジェクト整理
会員企業へのアンケート調査等を通じて、社会実装プロジェクトと各社プロジェクトの位置づけを整理。

ロードマップ作成
ロードマップの初期仮説を作成し、WGでの討議を通じて精緻化。

社会実装に向けた課題抽出
ロードマップを基に課題の初期仮説を作成、WGにて精緻化。

タスク3 政策提言案の作成

対応策検討
タスク1、2で抽出した課題に対する対応策の初期仮説を作成、WGでの討議を通じて精緻化。

政策提言案の策定
上記の検討を基に、水素政策に関与する省庁、閣僚など様々なステークホルダーに向けた政策提言案を作成。

普及拡大に向けての支援策等をまとめた政策提言案を作成。

実施概要

アウトプット

運輸、発電、産業等の部門別に水素需要を推計。



実証フェーズから普及拡大フェーズに至るまでのロードマップを作成。



お客様概要

| | |
|------|---------------------|
| 会員数 | 約300社・団体 |
| 業種 | 電力、石油、重工、自動車、電機など |
| 活動概要 | 水素社会の早期実現に向けた政策提言など |